

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 （単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	17,676,400	0	0	17,676,400
投資有価証券	549,919,750	9,000	0	549,928,750
小 計	567,596,150	9,000	0	567,605,150
特定資産				
記念事業準備積立資産	1,700,000	0	0	1,700,000
啓発事業等積立資産	4,451,450	0	0	4,451,450
小 計	6,151,450	0	0	6,151,450
合 計	573,747,600	9,000	0	573,756,600

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 （単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
定期預金	17,676,400	(17,676,400)	(0)	—
投資有価証券	549,928,750	(549,928,750)	(0)	—
小 計	567,605,150	(567,605,150)	(0)	0
特定資産				
記念事業準備積立資産	1,700,000	(0)	(1,700,000)	—
啓発事業等積立資産	4,451,450	(4,451,450)	(0)	—
小 計	6,151,450	(4,451,450)	(1,700,000)	0
合 計	573,756,600	(572,056,600)	(1,700,000)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	916,800	804,597	112,203
著作権	223,300	—	223,300
ソフトウェア	190,080	76,032	114,048
合 計	1,330,180	880,629	449,551

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第9回大阪府公募公債(20年)	199,928,750	218,320,000	18,391,250
千葉県第13回20年公募公債	100,000,000	108,440,000	8,440,000
16回名古屋市公募公債20年	250,000,000	267,450,000	17,450,000
合 計	549,928,750	594,210,000	44,281,250

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	9,161,353
受取寄付金振替額	0
合 計	9,161,353